

## 鹿児島市セーフコミュニティ

### 交通安全対策委員会～活動報告～



報告者：交通安全対策委員会 委員長

所属：鹿児島県交通安全協会 専務理事 松元雄樹

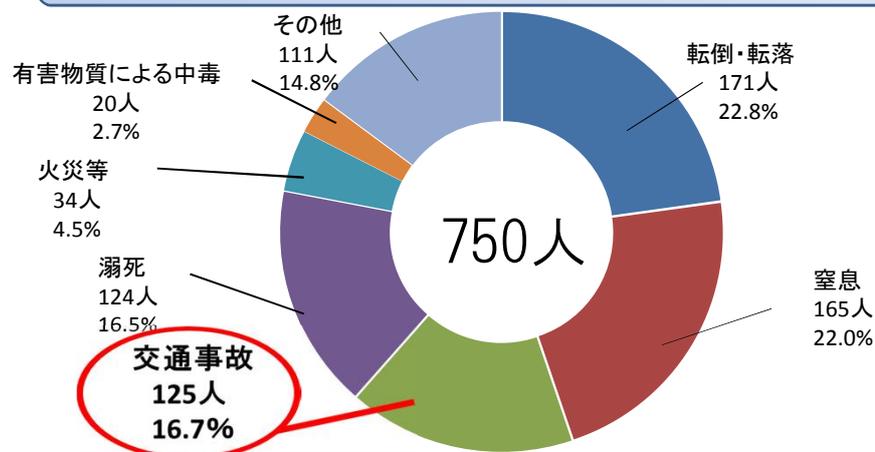
報告者：交通安全対策委員会 委員 宮里 直治

所属：吉野校区安心安全ネットワーク会議 役員

1

### 現状1 不慮の要因による死亡者の状況（図1）

不慮の要因による死者のうち約2割が交通事故

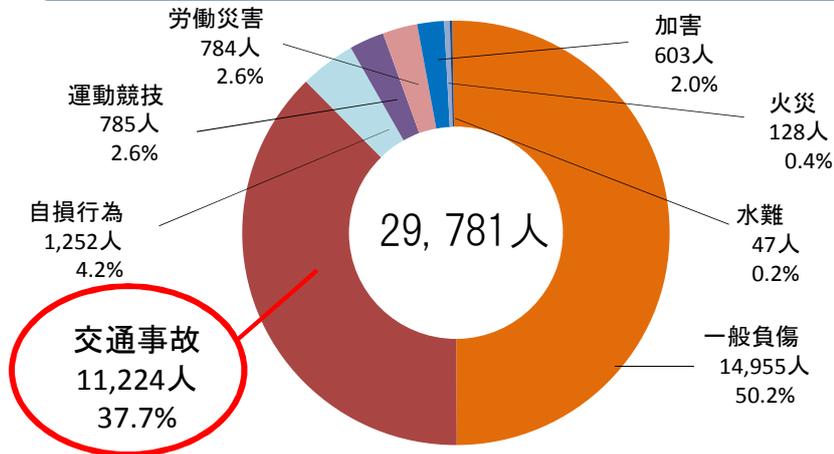


【出典】かごしま市の保健と福祉（人口動態統計）（鹿児島市）【データ】市、両性、全年齢、2008～2012年合計

2

現状2 事故別救急搬送の状況（図2）

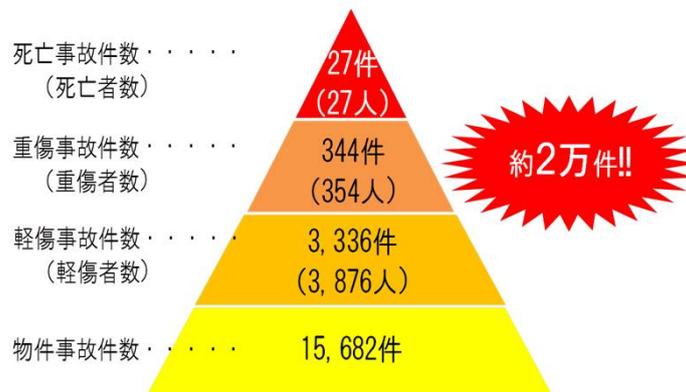
救急搬送者の約4割が交通事故に起因



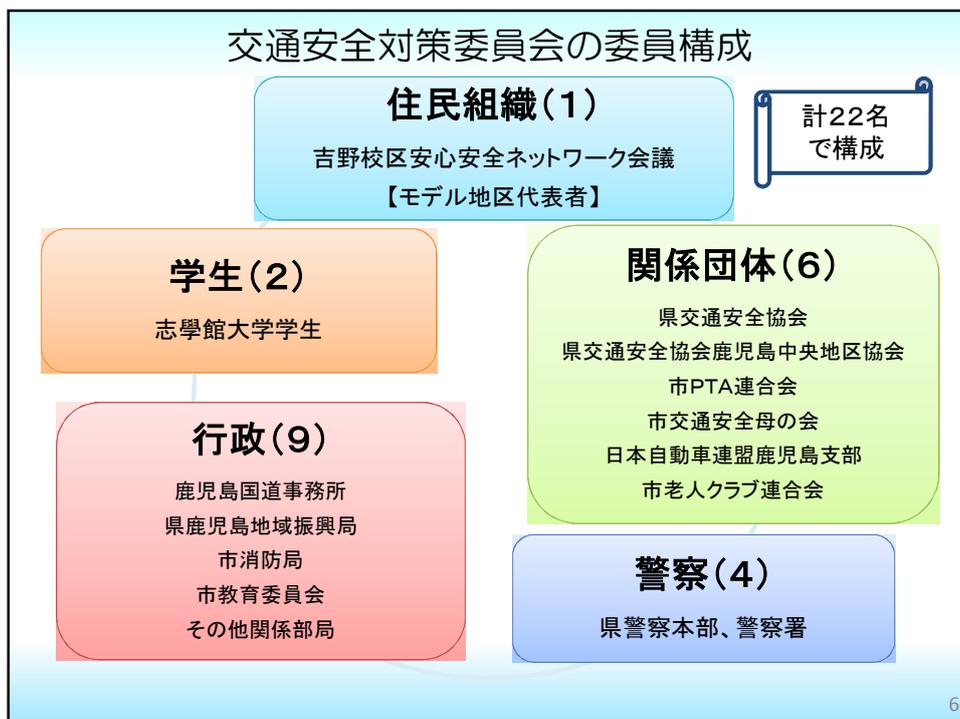
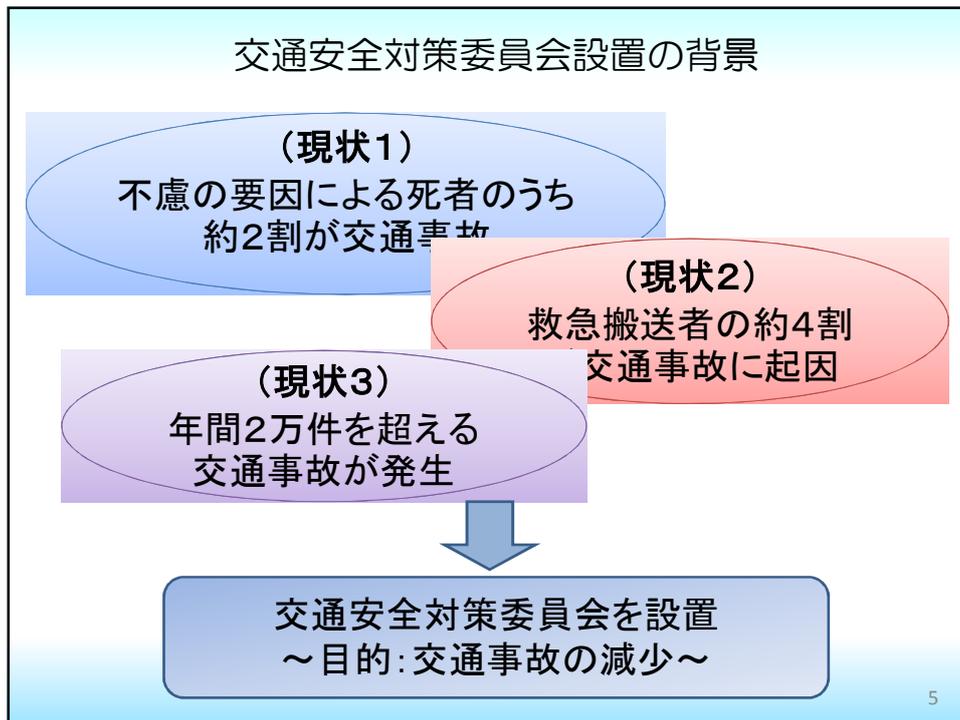
【出典】消防年報（市消防局）【データ】市、両性、全年齢、2010～2014年合計  
※救急搬送のうち、急病、その他（転院搬送など）を除く

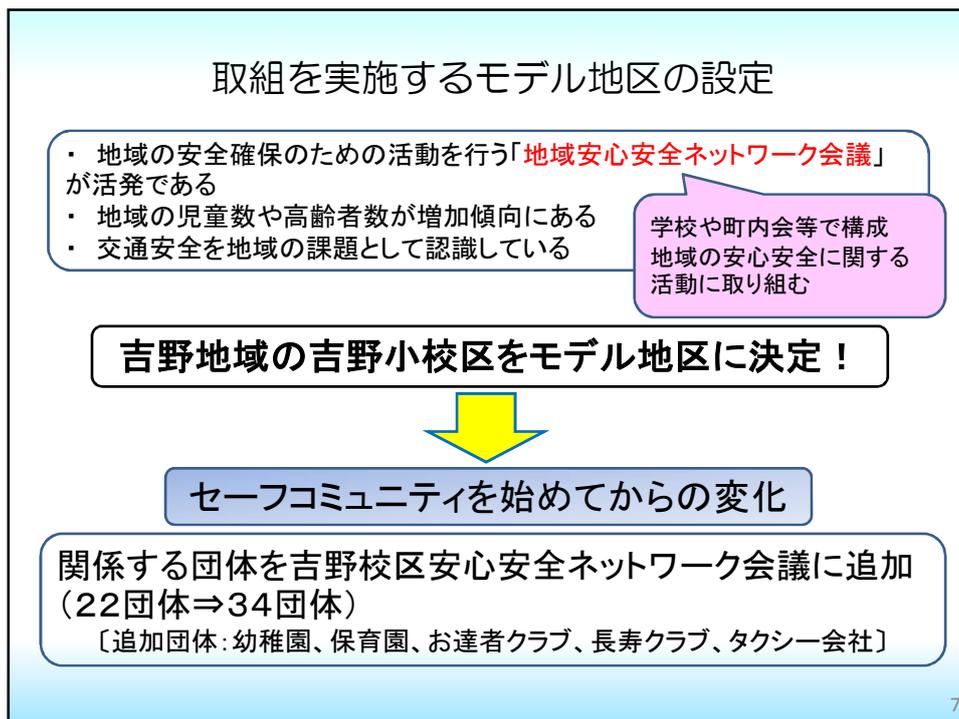
現状3 交通事故発生件数（物件事故を含む）（図3）

年間2万件を超える交通事故が発生しており、4,000人以上が死傷



【出典】交通事故統計分析表（鹿児島県警察）【データ】市内三署（高速道路を除く）、両性、全年齢、2014年





### 交通安全対策委員会の開催経過

会議	開催日	協議内容
第1回	5月27日(月)	既存データによる現状把握 目的・具体的な目標(案)の検討・決定
第2回	7月10日(水)	交通安全に関する意見交換 モデル地区(案)の検討・決定
第3回	7月30日(火)	吉野小校区における交通安全に関する取組の紹介 交通安全に関する取組の対象者・取組内容の検討
第4回	10月 1日(火)	交通安全に関する取組の対象者・取組内容の決定
第5回	11月 1日(金)	対象者ごとに設定した取組内容の実施方法等の検討
第6回	2月 6日(木)	吉野小校区における取組の実施状況の確認、検証 取組の評価指標の検討・決定
第7回	5月 8日(木)	吉野小校区における取組の実施状況の確認、検証 今後の取組の検討
第8回	7月15日(火)	吉野小校区における取組の実施状況の確認、検証 プレ現地審査発表資料の検討
第9回	9月30日(火)	プレ現地審査リハーサル

現状把握

取組検討

モデル地区での展開

リハーサル

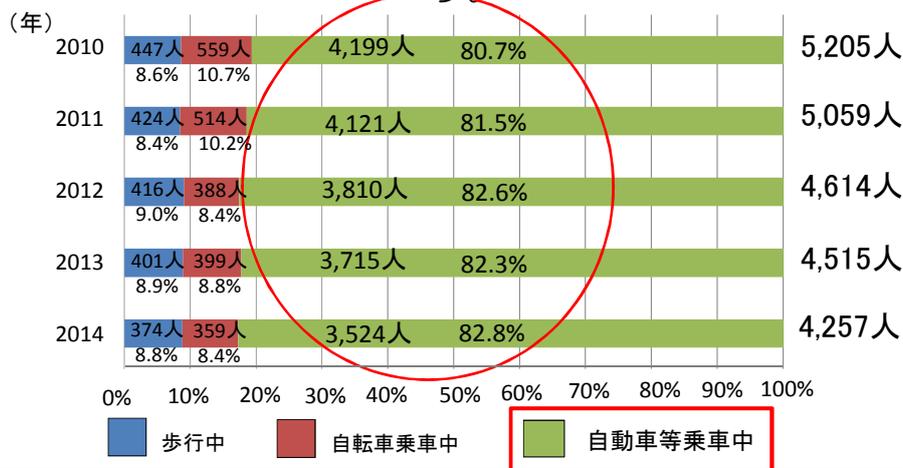
8

会議	開催日		協議内容	
第10回	2014年	10月23日(木)	プレ現地審査	プレ現地 審査
第11回		12月2日(火)	吉野小校区における取組の実施状況の確認、検証 プレ現地審査の結果・取組の評価指標について	
第12回	2015年	2月10日(火)	吉野小校区における取組の実施状況の確認、検証 プレ現地審査を踏まえた今後の方針について 取組の評価指標について 認証申請書(案)の作成について 広報パンフレットの作成について	モデル地区 での展開
第13回		5月8日(金)	吉野小校区における取組の実施状況の確認、検証 取組の評価指標・認証申請書について 現地審査における取組の発表内容について	
第14回		7月7日(火)	吉野小校区における取組の実施状況の確認、検証 高齢者宅の戸別訪問 夜光反射材の着用啓発 現地審査における取組の発表内容と資料について	
第15回		9月3日(木)	現地審査リハーサル	
				現地審査

9

### 課題1 交通事故死傷者の発生状況(図4)

事故状態別では自動車等乗車中が8割を占めています。

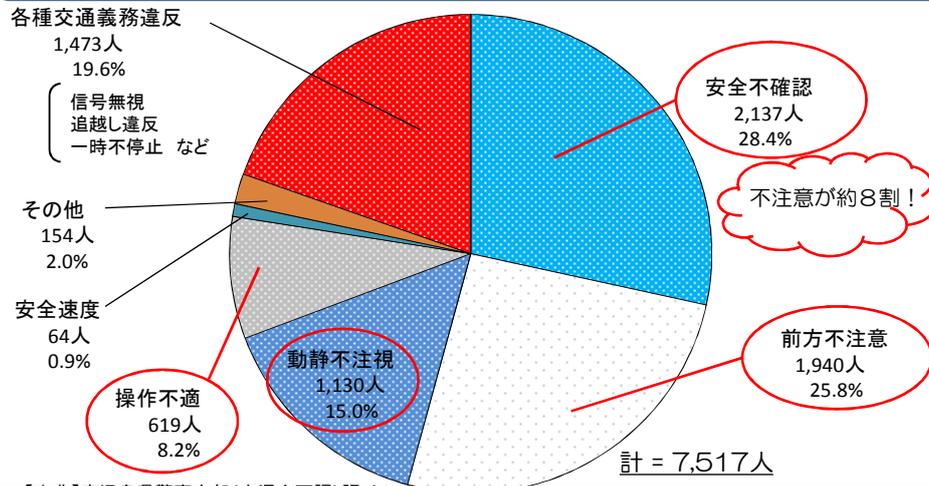


【出典】交通事故統計分析表(鹿児島県警察)  
【データ】市内三署(高速道路を除く)、両性、全年齢 2010~2014年

10

課題2 車両（軽車両を除く）運転者の事故原因（図5）

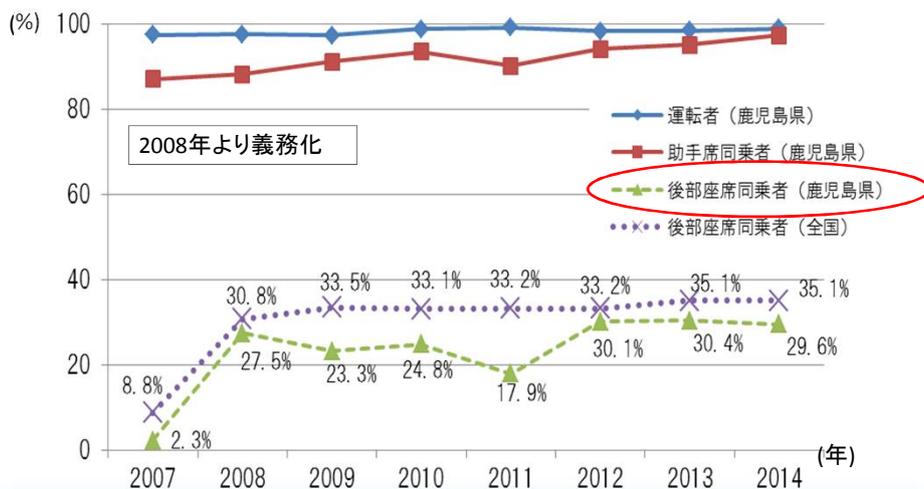
ちょっとした不注意が交通事故を引き起こしています。



【出典】鹿児島県警察本部（交通企画課）調べ  
 【データ】市（高速道路を含む）、両性、全年齢、2013～2014年合計  
 ※車両（軽車両を除く）・路面電車に原因（第1当事者のみ）

課題3 シートベルト着用率の推移（図6）

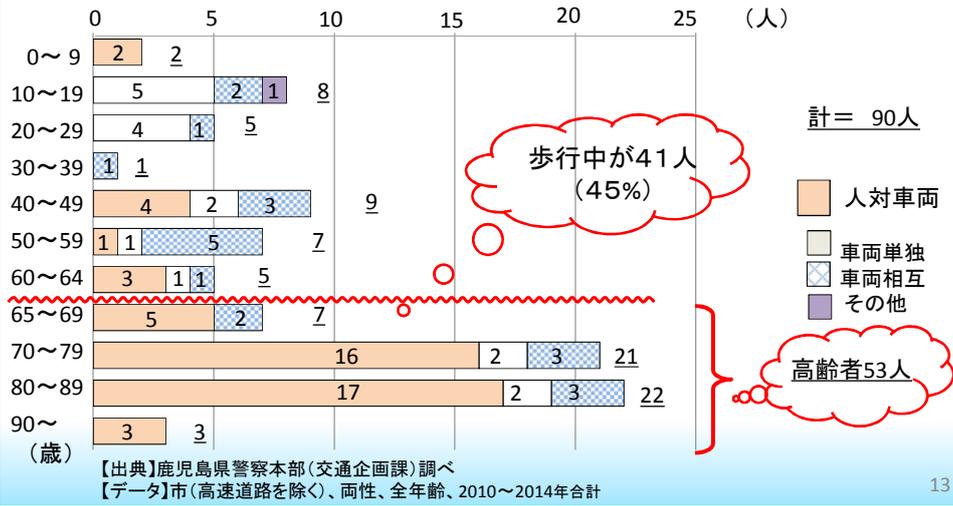
後部座席のシートベルト着用率が低くなっています。



【出典】シートベルトの着用状況全国調査（警察庁、日本自動車連盟）  
 【データ】県・全国（一般道路のみ）両性、全年齢、2007～2014年

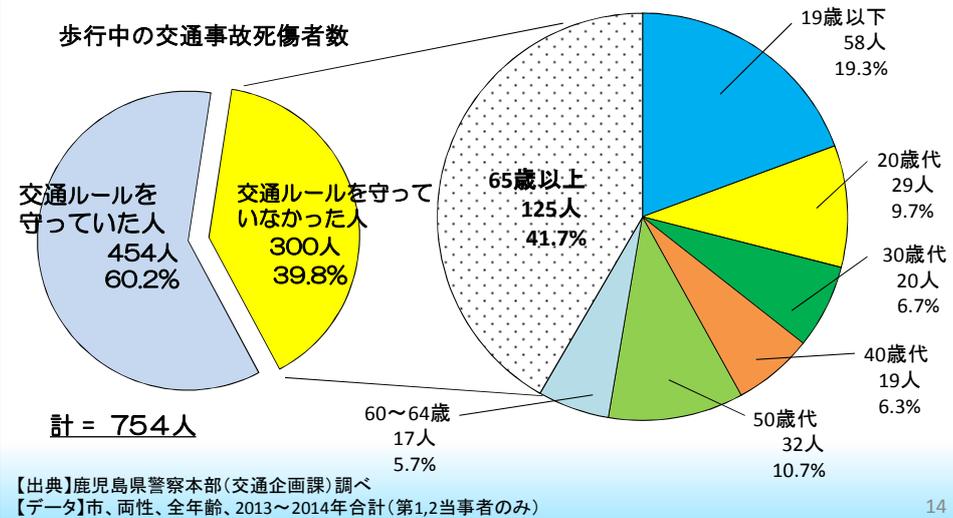
課題4 交通事故による年齢層別死者の状況 (図7)

交通事故死者は、歩行中の高齢者が多く  
なっています。



課題5 年齢層別の交通事故死傷者数 (図8)

交通ルールを守らずに死傷した歩行者のうち  
高齢者が4割を占めています。

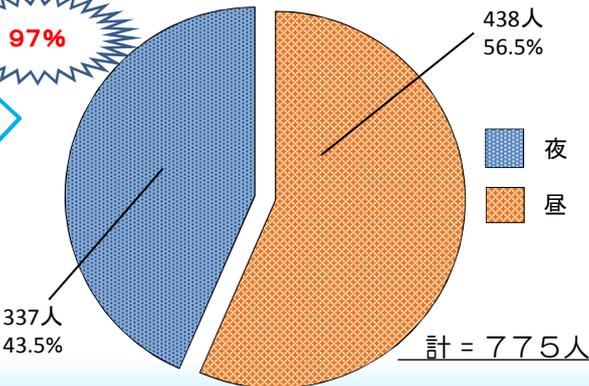


課題6 歩行中の交通事故死傷者数と夜光反射材着用率の関係 (図9)

交通事故死傷者は夜間が約4割を占め、うち高齢者が多く、その大部分が夜光反射材を着用していません。

**反射材非着用  
328人**

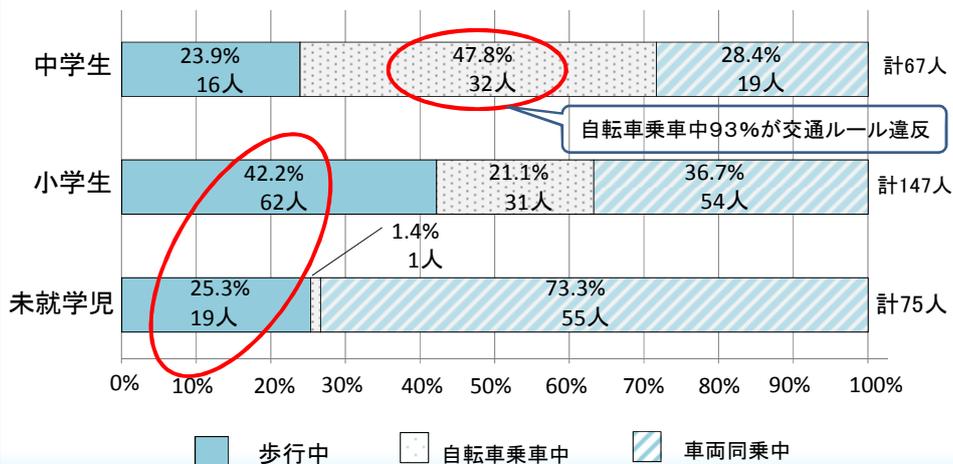
19歳以下	23人
20歳代	55人
30歳代	47人
40歳代	30人
50歳代	41人
60~64歳	22人
<b>65歳以上</b>	<b>110人</b>



【出典】鹿児島県警察本部(交通企画課)調べ  
【データ】市、両性、全年齢、2013~2014年合計

課題7 学齢別・交通事故状態別の死傷者の状況 (図10)

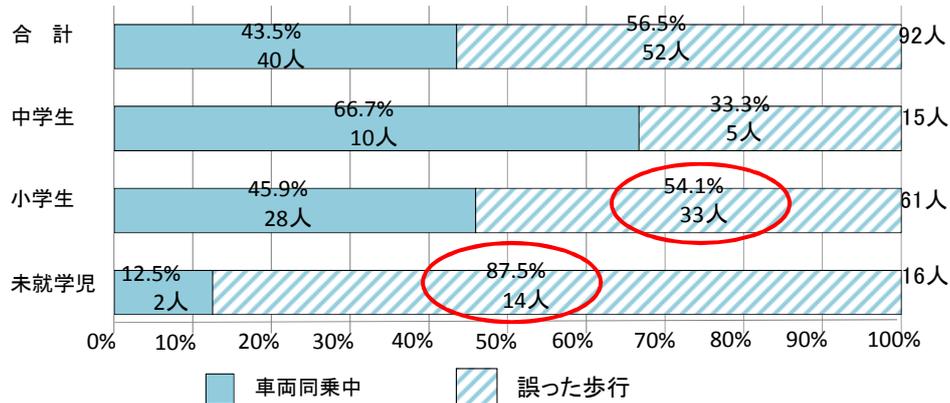
中学生は自転車乗車中の死傷者が多く、未就学児、小学生は、歩行中の死傷者が多くなっています。



【出典】鹿児島県警察本部(交通企画課)調べ  
【データ】市、両性、中学生以下、2013~2014年合計

課題8 学齢別における歩行中の交通事故死傷者の状況(図11)

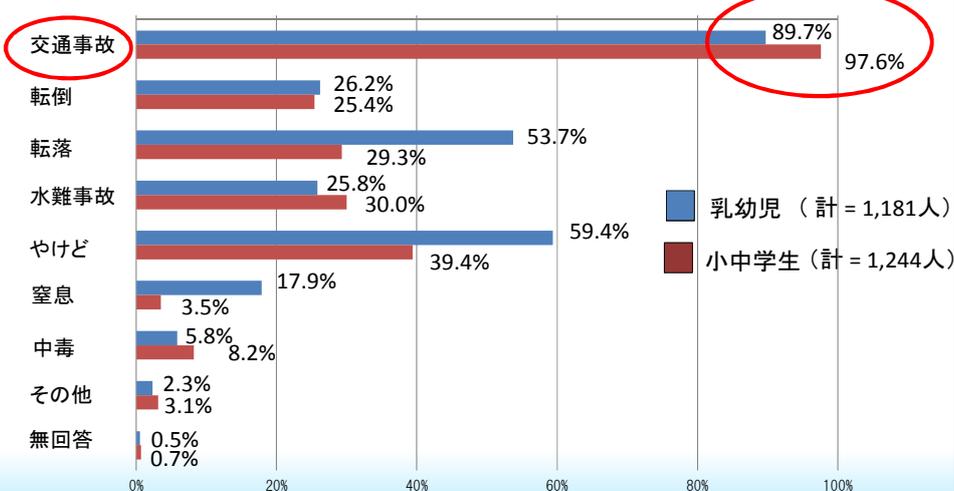
子どもは交通ルールを守らずに交通事故に遭い、死傷することが多くなっています。



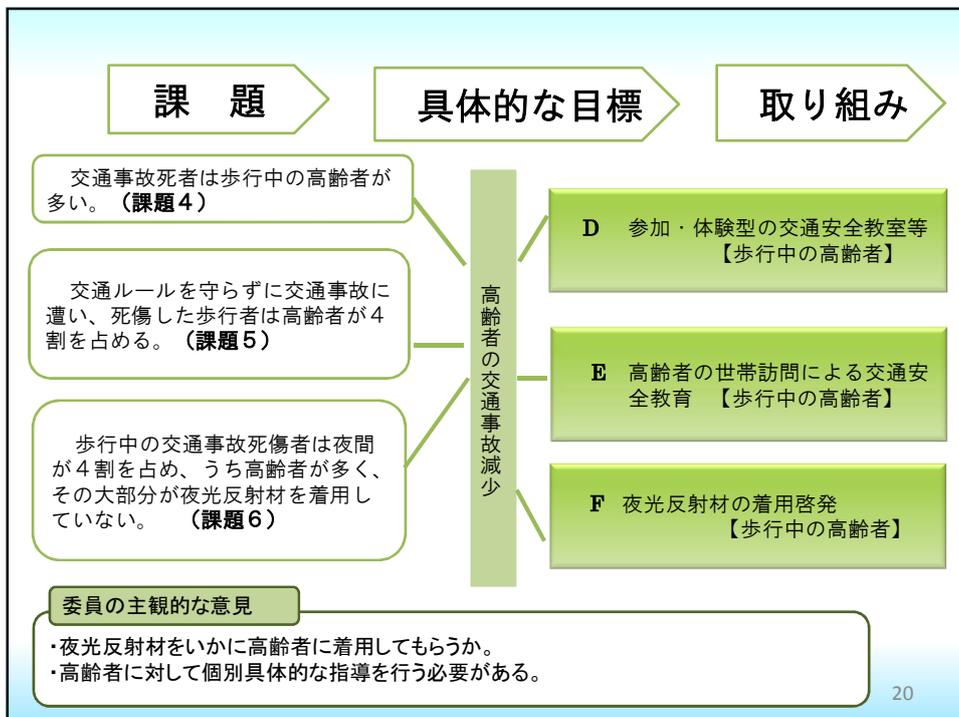
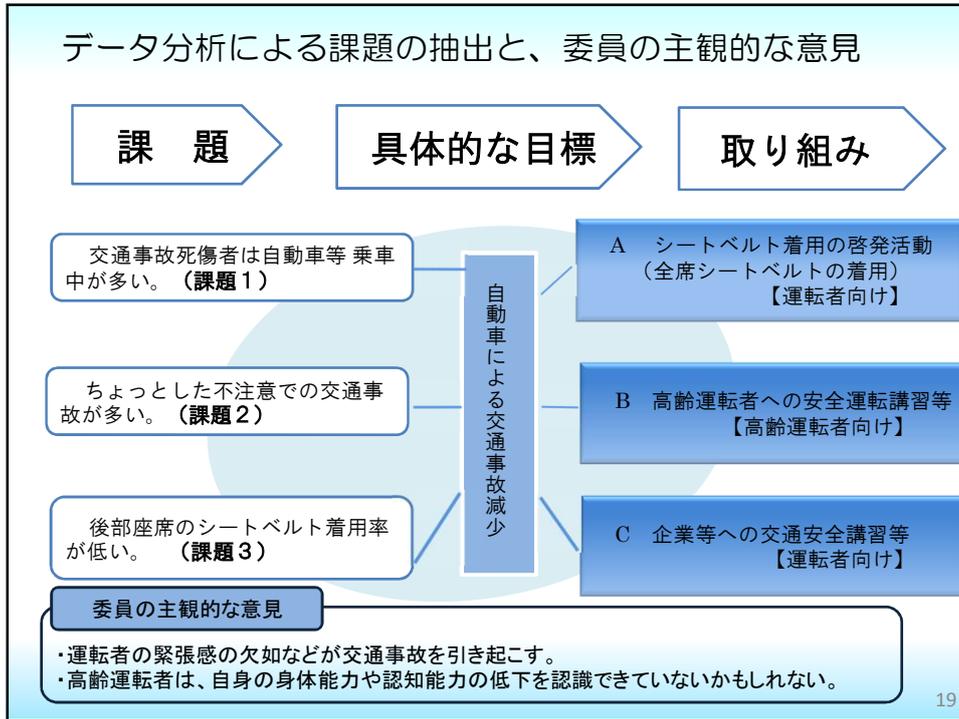
【出典】鹿児島県警察本部(交通企画課)調べ  
 【データ】市、両性、中学生以下、2013~2014年合計  
 (第1、2当事者のみ)

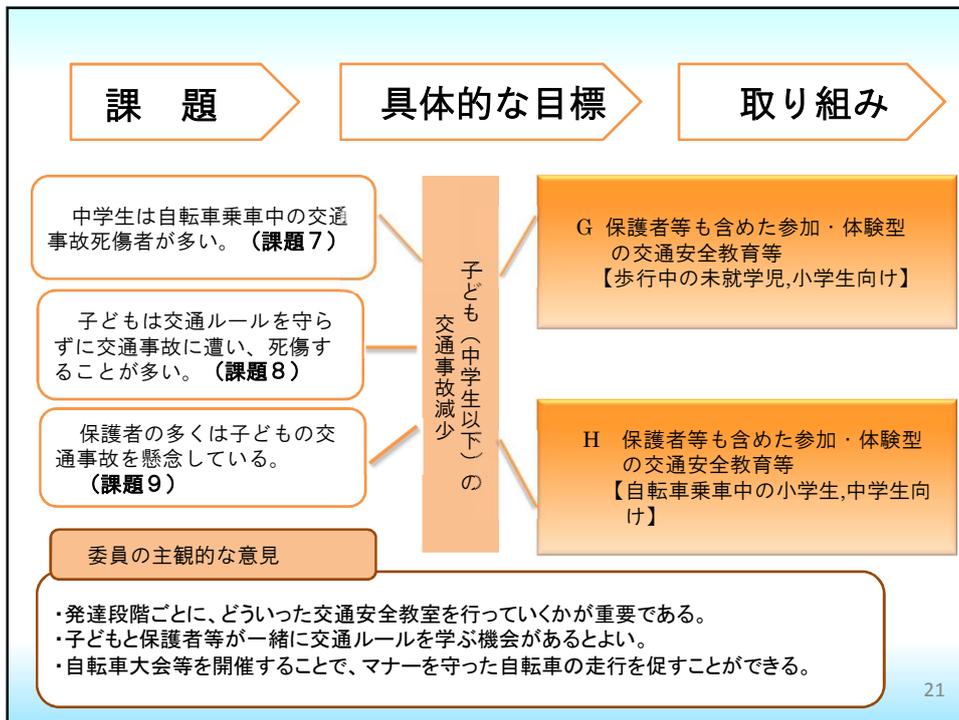
課題9 子どもの保護者が懸念する事故の種類(LA)(図12)

保護者の多くは子どもの交通事故を懸念しています。



【出典】事故やけがなどに関する調査(鹿児島市) 【データ】市、両性、乳幼児・小中学生の保護者 2012年度





交通安全に関する国・県・市・地域等の役割分担				
課題	国レベル	県レベル	市レベル	地域・各種団体レベル
① 交通安全の意識啓発	・方針の決定(全国交通安全運動推進要綱)	・交通安全運動要綱の策定 ・交通事故防止運動(キャンペーン・チラシ配布) ・交通安全教育車の派遣 ・市や団体等への支援	・交通安全運動要綱の策定 ・交通安全運動市民大会の開催 ・交通事故防止運動(キャンペーン・チラシ配布)	・交通安全運動への参加 ・街頭キャンペーンの実施
【交通安全対策委員会】夜光反射材等の着用啓発				
② 交通事故防止	・道路交通法	・交通規制 ・交通取締り	・交通安全教室の実施 ・児童通学保護員の設置 ・交通安全施設等の整備 ・交通事故相談	・交通安全講習会 ・スクールゾーン委員会の活動 ・登下校時の見守り
【交通安全対策委員会】交通安全講習の実施				
③ 道路環境の整備	・危険箇所の指定 ・事故ゼロプラン	・ゾーン30の指定	現場診断・ハード面の整備	・交通安全要望の提出
		<p>県警</p> <p>セーフコミュニティ支援推進委員会</p>	データの提供	<p>【交通安全対策委員会】交通安全マップの作成</p>

22



## 1. 自動車運転者を対象とした取組

<p>A シートベルト着用の啓発活動</p> <p>C 企業等への交通安全講習等</p>	<p><b>拡充</b></p> <p><b>新規</b></p>
--	-----------------------------------

<p>2013年度 実施 1回、参加 572人</p> <p>2014年度 実施 5回、参加 224人</p> <p>2015年度 実施 1回、参加 70人</p>
--

事業所の職員を対象に交通安全教室を実施



トラックに乗車して死角を確認



教習車による安全運転講習

保護者や小中学校の教員を対象に、飲酒運転体験を伴う交通安全教室（ナイトスクール）を実施



交通安全ナイトスクール  
「飲酒運転体験講習会」



24

## 2. 高齢者を対象とした取組

A シートベルト着用の啓発活動  
 B 高齢運転者に対する安全運転講習等  
 D 参加・体験型の交通安全教室等  
 F 夜光反射材の着用啓発

拡充

2013年度 実施 5回、参加 232人  
 2014年度 実施 5回、参加 157人

防犯教室に交通安全教室を追加



高齢者疑似体験セットによる道路横断体験



夜光反射材の効用体験

お達者クラブの活動に交通安全教室を追加



組合せゲーム



ドライビングシミュレータによる講習

身体機能低下の影響を認識！

25

## 3 子どもを対象にした取組

G・H 保護者等も含めた参加・体験型の交通安全教育等

拡充

2013年度 実施2回、参加248人  
 2014年度 実施1回、参加 79人  
 2015年度 実施1回、参加 79人

年齢に応じた教育が必要！

防犯教育に交通安全教育を追加



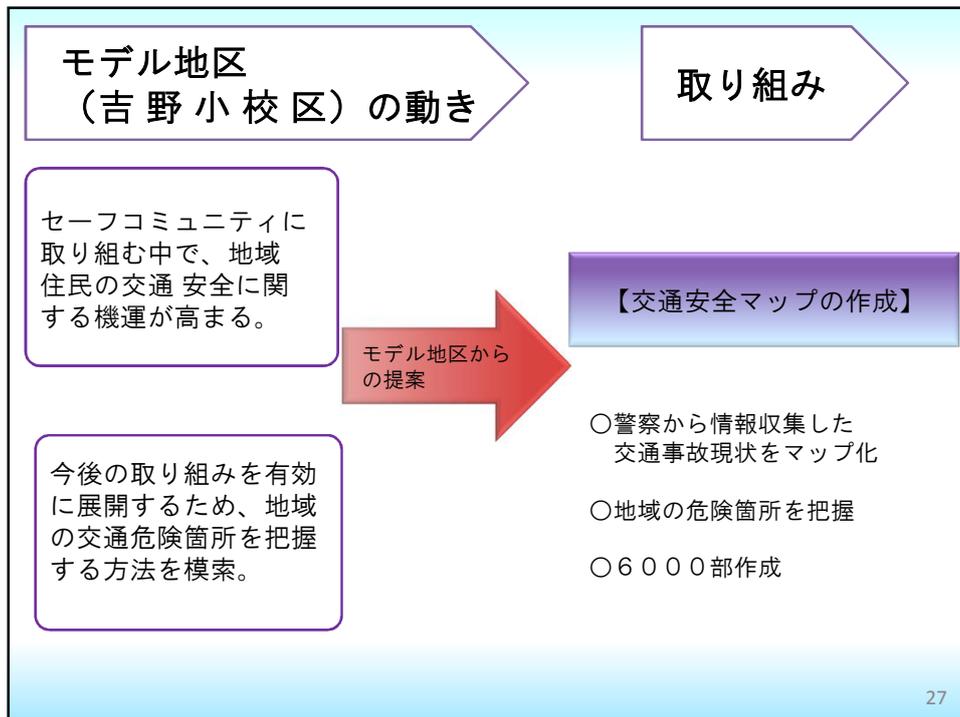
①横断実技（横断歩道の正しい横断方法）

子どもと一緒に保護者や教員も参加



②自転車実技（交通ルールや安全な乗車方法）

26



## 4 交通安全マップの作成

新規

モデル地区関係団体等が協働し、危険箇所を検討

作成した交通安全マップ (6,000部作成)

危険箇所に対する現場診断を実施

交通安全マップを作成し、現場診断を実施しました。

28

取り組みに対する評価指標(抜粋)

【目的】交通事故の減少

【具体的な目標】自動車による交通事故減少

【凡例】 ①指標名 ②確認方法 ③確認の対象

取り組み	活動指標	実績
A シートベルト着用の啓発活動(全席シートベルトの着用)	街頭キャンペーン等での啓発活動の実施回数・配布数	街頭啓発活動:2回、872枚配布(2013年度) :2回、400枚配布(2014年度) 交通安全教室:3回、30枚配布(2013年度) :5回、42枚配布(2014年度) ※他の取り組みとの重複集計あり
成果指標(短期)	成果指標(中期)	成果指標(長期)
①シートベルトの着用義務の認識度 ②アンケート調査 ③運転者	①シートベルト着用率の推移 ②警察庁・JAF統計データ、アンケート調査 ③運転者	①シートベルト未着用による交通事故死傷者数 ②警察統計データ ③運転者

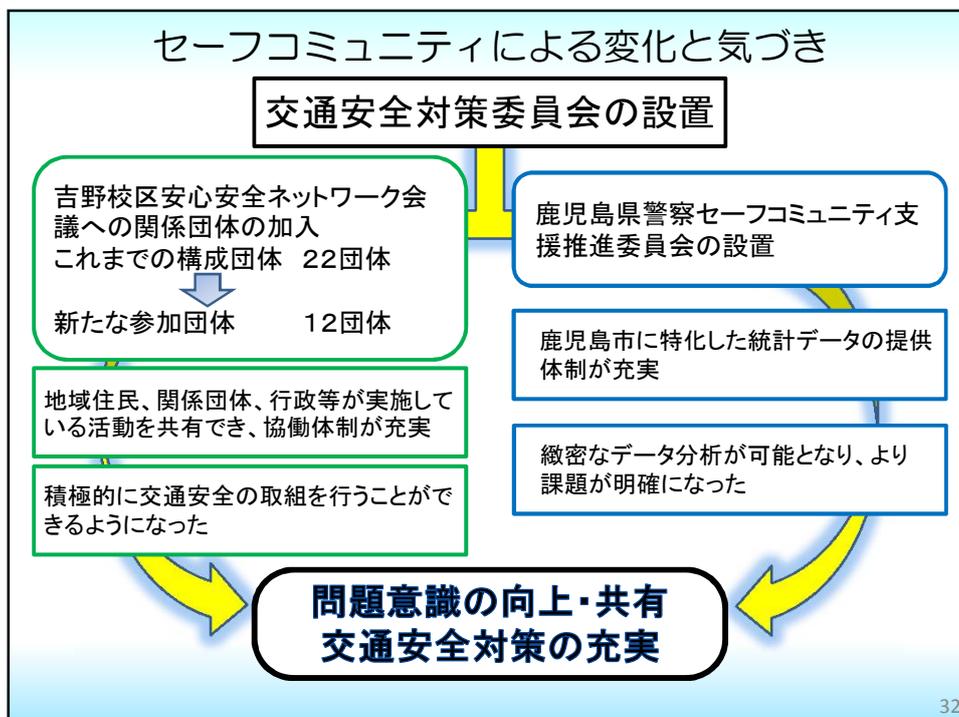
29

取り組み	活動指標	実績
B 高齢運転者への安全運転講習等	高齢運転者への安全運転講習等の実施回数・参加者数	交通安全教室:3回、30人(2013年度) :4回、114人(2014年度) ※他の取り組みとの重複集計あり
成果指標(短期)	成果指標(中期)	成果指標(長期)
①交通ルール・マナーの認識度 ②アンケート調査 ③高齢運転者	①交通ルール・マナーの認識による行動の変化 ②アンケート調査 ③高齢運転者	①高齢運転者の交通事故死傷者数 ②警察統計データ ③高齢運転者

30

取り組み	活動指標	実績
C 企業等への交通安全講習等	企業等への交通安全講習等の実施回数・参加者数	交通安全教室:2回、34人(2014年度) ※他の取り組みとの重複集計あり
成果指標(短期)	成果指標(中期)	成果指標(長期)
①交通ルール・マナーの認識度 ②アンケート調査 ③運転者(20~60歳代)交通安全講習等を実施した企業等	①交通ルール・マナーの認識による行動の変化 ②アンケート調査 ③運転者(20~60歳代)交通安全講習等を実施した企業等	①稼働年齢層の交通事故死傷者数 ②警察統計データ ③運転者(20~60歳代)
[全体評価(A~C)]		
成果指標(短期)	成果指標(中期)	成果指標(長期)
		①自動車による交通事故死傷者数と交通違反種別 ②警察統計データ ③運転者

31



32

### 課題と展望

**課題**

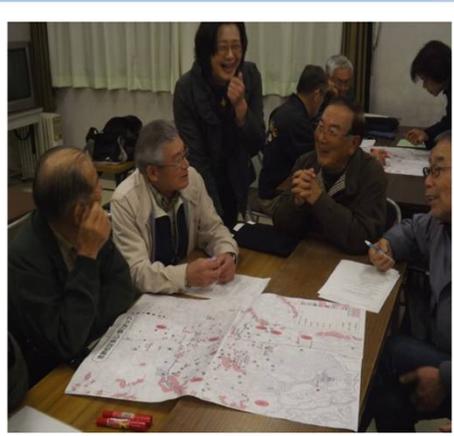
- ・交通安全教室等への参加者が固定化する傾向にある
- ・モデル地区の取組をいかに全市に広めていくか

**展望**

- ・活動に参加しない人への参加を促し、地域住民が一体となった交通安全運動を進めていく
- ・吉野小校区の取組みをモデルに、それぞれの地域にあった取組みとして、順次市内全域に拡大していく

33

## ご清聴ありがとうございました



~世界基準の安心安全都市を目指して~  
みんなでつくるセーフコミュニティかごしま

34